

ターボをダウンサイジング過給と位置づけクルマの本質を磨いた、One's MINI TOURER。

クルマの価値とはなにかを考えていくとモビリティの本質にたどり着きます。いつでも自由にスピーディに移動したい。そうした、人々の根源的欲求に応えられるからこそ、クルマは愛され続けているのです。N-ONEの目指す姿は、まさに、そこにありました。クルマに求められる本質的な価値と魅力を徹底的に追求し、そこで描いた理想を妥協することなく具現化する。それによって、あたらしいベーシックカーが提案できると考えたのです。

着目したのは、これまでの軽自動車が不得手としてきた高速・長距離移動でした。そこでまず、ターボエンジンに対する考え方を逆転。軽自動車の中の「ハイパワーバージョン」ではなく、660ccで1.3Lクラスの走りを実現するための「ダウンサイジング過給」と位置づけました。この考え方のもと、「One's MINI TOURER」というコンセプトを確立。大人4人が快適にロングドライブできる走行性能とパッケージを基本に、親しみやすいデザインや高い質感を追求し、「One's」、すなわち、お客様一人ひとりにとって最適な「マイカー」となることを目指しました。

■ タイムレスNデザイン

N360の血統を受け継ぎ、親しみやすく印象的な表情とクルマとしての躍動感を追求。時代を超えて愛されるシンプル&ハイクオリティな本質デザインを目指しました。

■ 快適ツアラー性能

N BOXでデビューした新エンジンをさらにリファインし、軽量高剛性ボディと専用設定サスペンションによって走りを向上。1.3Lのsmallカーを超える加速性能(ターボ車)と直進安定性、優れた静粛性などで、もっと遠くまで行きたくなるクルマを目指しました。

■ 安全ドライブ性能

N BOXで全タイプ標準装備としたVSA(車両挙動安定化制御システム)に加え、急ブレーキ時に後続車に注意をうながすエマージェンシーストップシグナルを軽自動車としてはじめて*全タイプに標準装備。サイドカーテンエアバッグシステムをLパッケージに標準設定するなど、smallカー同等の安全性能を備えました。

開発の中で、「軽」という言葉はほとんど使われませんでした。クルマとしての本質を磨き上げることに、それだけ集中していたからです。その結果、smallカーを超えるあたらしいベーシックカーを、維持負担の少ない軽自動車の規格内で完成させることができました。smallカーやそれ以上のクルマを乗り継いできた方々にも十分満足いただけ、はじめてクルマを持つ若い方々には、クルマがある暮らしの便利さと豊かさを満喫いただけることでしょう。

クルマに求められる本質的な価値と魅力を磨き上げた、N-ONE。「きょうはクルマで出かけよう」という言葉が日本中にあふれることを願う、Hondaからの小さくて大きな提案です。



※ 2012年10月現在 Honda調べ